



第78回 瀧廉太郎記念

全日本高等学校声楽コンクール 実施要項



〈文部科学大臣賞〉 ・ 〈瀧 廉 太 郎 賞〉

ウィーン留学助成

1位 60万円

2位 40万円

第26回大分県民芸術文化祭参加行事

2024(令和6年) 10.18～10.20 竹田市総合文化ホール グランツたけた

主催：竹 田 市・竹田市教育委員会・大分県教育委員会・瀧廉太郎記念音楽祭実行委員会

出場規定

出場資格 日本国内の高等学校に在籍する生徒とする。（令和6年4月1日現在20歳未満であること）

- 出場申込** ①各都道府県で出場選考会（コンクール等）が開催されている場合
出場申し込み期限は、令和6年9月17日(火)（事務局必着）
各都道府県教育委員会、同高等学校文化連盟、同高校音楽教育研究会が主催する都道府県単独の選考会（コンクール等）を経て、推薦された生徒とする。
※各地区予選大会の日程等の都合により申し込み期限に間に合わない場合は、事前にお知らせください。
※昨年度2位以上に選ばれた方は、留学報告演奏会にも出ていただきます。
- ②各都道府県で出場選考会（コンクール等）が開催されていない場合
出場申し込み期限は、令和6年7月31日(水)（事務局必着）
在籍する学校の校長推薦を受けた生徒とする。ただし申し込み時に課題曲・自由曲の2曲を録音した「動画」を申込書に併せて提出し、主催者による選考会を経て合格した生徒とする。また、ひとつの都道府県に2校以上の学校長推薦による申し込みがあった場合も主催者による選考会を経て、合格した1校の生徒の参加とする。
「学校長推薦書」は本コンクール主催者指定の様式のものを使用すること（ホームページからダウンロード）。詳細は3頁の「歌唱動画の提出について」を参照ください。
※①、②に関わらず、災害等有事の際、コンクールの開催が難しくなった場合は、動画提出を求める場合があります。その場合も、3頁の「歌唱動画の提出について」に準拠します。

出場人数 各都道府県1名とする。ただし、北海道、東京都、大分県は2名とする。竹田市および竹田市と音楽姉妹都市の宮城県仙台市、長野県中野市は別に、市長推薦（竹田市は学校長推薦）された1名の参加を認める。

- 選曲等** ①予選・本選ともに課題曲・自由曲各1曲とし、課題曲は瀧廉太郎作曲「荒磯」「荒城の月」「納涼」及び山田耕筰編曲の「秋の月」から1曲とする。ただし「荒城の月」は山田耕筰編曲で、1番から4番までの歌詞のうち、希望する歌詞を二番選択する。
- ②課題曲・自由曲の順で歌うこととする。
- ③課題曲・自由曲ともに、予選と本選の曲は同一曲とする。
- ④移調を認める。（ただし、オペラ・アリアは原調とする）
- ⑤課題曲・自由曲合わせて8分以内とする。
- ⑥伴奏者は高校生に限定しない。
- ⑦出場申込み後に曲目の変更は認めない。

審査員 佐々木 典 子 （東京藝術大学教授）
齊 藤 言 子 （神戸女学院大学名誉教授）
佐 藤 美枝子 （武蔵野音楽大学教授）
山 下 浩 司 （国立音楽大学教授）
萩 原 潤 （東京藝術大学准教授）

- 表彰** 1位／文部科学大臣賞をはじめ、主催、後援者の賞状・楯を贈る。瀧廉太郎賞としてウィーン短期留学助成金（60万円）を贈る。留学有効期間は表彰式より1年以内とする。また留学しない場合は支給しない。
- 2位／主催、後援者の賞状・楯を贈る。瀧廉太郎賞としてウィーン短期留学助成金（40万円）を贈る。留学有効期間は表彰式より1年以内とする。また留学しない場合は支給しない。
- 3位／主催、後援者の賞状・楯を贈る。瀧廉太郎賞として10万円相当の図書カードを贈る。
- 優秀賞／主催、後援者の賞状・楯を贈る。
- 優良賞／主催、後援者の賞状・楯を贈る。
- 瀧廉太郎顕彰賞／主催の賞状・楯を贈る。
- 出場者・伴奏者全員に記念メダルを贈る。（伴奏者は高校生のみ）

申込先 出場申込書（別紙1）を下記へ郵送。併せて、歌唱動画を専用メールアドレスに送信すること。

〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650番地 竹田市教育委員会生涯学習課
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール事務局
☎0974-63-4817 FAX 0974-63-2373 ✉syougai@city.taketa.lg.jp
※ホームページからも申込書をダウンロードすることができます。
竹田市公式ホームページ <https://www.city.taketa.oita.jp/>

交 通 ①交通費はすべて各自の負担とする。

②航空機利用者は、数か月前から航空券の販売が開始されますので、早割チケットの購入をお勧めします。

③会場と宿泊先との移動は公共交通機関、またはタクシー等をご利用ください。

宿 泊 ①宿泊費は、すべて各自の負担とする。 宿泊料金は、1人あたり1泊1食6,500円（税込）、1泊2食 8,500円（税込）（旅館組合による統一された「音楽祭」特別料金）。「宿舎名」及び「宿泊料金」の決定通知は、9月下旬頃に文書にて送付する。支払いは、チェックアウトの際に宿泊ホテルにて各自精算すること。

②本コンクール期間中は、原則として主催者側指定の宿舎に宿泊すること。宿舎は、出場者の宿泊場所を公平に確保するため、コンクール会場から近い「竹田旅館組合」所属の宿舎（市街地ビジネスホテル）の全館を予約し、部屋割りを決めている。

③宿泊場所に「農家民泊」が可能な場合は、出場申込書「7. 参加人数」の「農家民泊」欄「希望する」に○印をつけること（ツーリズム協会にはこちらからご連絡します。振り分けの都合で必ずしも「農家民泊」になるとは限りません。農家民泊とは、竹田市内の農家に宿泊することです。民家のため、相部屋等の制限があります〔利用は有料〕）。

そ の 他 出場者の練習会場（時間）は主催者で準備する。

※災害等有事の際には、開催内容等を変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

歌唱動画の提出について

2頁「出場申込」の「②各都道府県で出場選考会（コンクール等）が開催されていない場合」、または災害時有事の際で、コンクールの開催が難しくなった場合は、動画の提出が必要となります。

詳細は下記のとおりとなります。

1. 動画撮影の機材（ビデオカメラ等）で撮影し、このコンクールのために新たに撮り下ろしたものとする。
2. 提出する歌唱動画は「未編集」のものとする。
3. 撮影は、歌唱者の腰から上の「上半身」をフレーム内に収め、カメラアングルを三脚等で固定すること。なお、スマートフォンで撮影する場合、外付ガンマイクを取り付けることが望ましい。
4. 演奏の前に、確認のため「学校名、学年、独唱者氏名、課題曲名・自由曲名（作曲家名含む）」続いて「伴奏者氏名（高校生の場合、学校名と学年）」について、歌唱者の口頭による紹介を録画すること（紹介の終了時点で、一度カメラを止めても構わない）。
5. 「課題曲」と「自由曲」は、カメラを止めずに続けて演奏し、演奏時間（課題曲の「演奏開始」から自由曲の「演奏終了」まで）は、規定どおりの8分以内に収めること。
6. 保存形式は「MP4」または「MOV」とする。
7. 服装は、本コンクール出場時と同様（制服）のものとする。特定の制服がない高校については、審査員の前で演奏するつもりで、恥ずかしくない服装を心がけること。
8. 提出方法は、大容量ファイルサービス（「ギガファイル便」等）を使用し、専用メールアドレス（takiren.rtmf@gmail.com）に送信すること。なお、件名には「たきれん提出動画 ○○（都道府県名）」、本文には「学校名・学年・氏名・課題曲名・自由曲名・撮影日・撮影場所」を記入すること。
9. 動画提出後の「差し替え」及び「曲目変更」は認めない。



日程（予定）

会場：竹田市総合文化ホール グランツたけた

10/18 (金)	10/19 (土)	10/20 (日)
12:00 … 出場校受付開始 (出場校練習) 17:00 … オリエンテーション 予選抽選会 18:00 … 開会式 19:00 … 歓迎レセプション (軽食を準備します)	12:50 … 審査員紹介 13:00 … コンクール (予選) 18:00 … 予選審査発表 本選抽選会	10:50 … 審査員紹介 11:00 … コンクール (本選) 12:30 … ウィーン留学報告 演奏会 13:30 … 本選審査発表 表彰式 (閉会式) 15:00 … 終了予定
昼食は、出場者及び関係者が無料で利用できる「昼食会場」をご利用ください。		

※時間については多少変更することがありますので、予めご了承ください。

大分県竹田市へのご案内

空路

- 東京＝大分：85分
- 名古屋＝大分：65分
- 大阪＝大分：55分
- 東京＝熊本：90分
- 名古屋＝熊本：70分
- 大阪＝熊本：60分

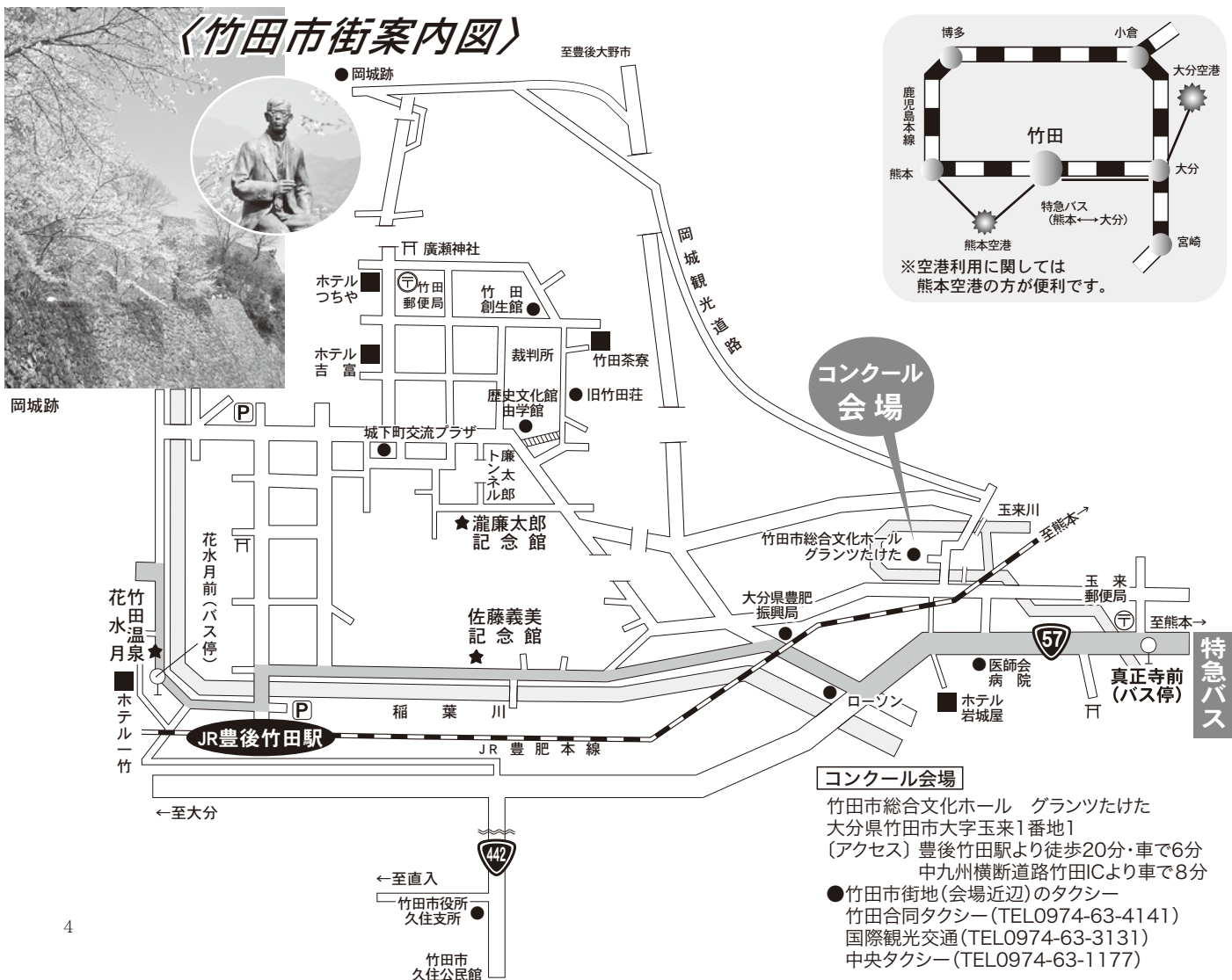
陸路 JR

- 小倉＝大分：80分
- 大分＝竹田：60分
- 熊本＝竹田：120分

陸路 バス

- 大分空港＝大分：55分
- 大分＝竹田：70分
- 熊本空港＝竹田：120分

《竹田市街案内図》



歴 史

歴代最優秀賞受賞者（昭和28年度以降）

開催年	県名	出身高等学校	氏名
昭和28年	大分県	緑丘高等学校	中野 洋子
昭和29年	福岡県	福岡中央高等学校	藤井 原
昭和30年	熊本県	人吉高等学校	中山 都
昭和31年	熊本県	人吉高等学校	村山 灯子
昭和32年	愛媛県	宇和高等学校	永見富久好
昭和33年	佐賀県	白石高等学校	宮原 昭吾
昭和34年	鳥取県	倉吉西高等学校	里美 昭子
昭和35年	熊本県	第一高等学校	村尾 寿子
昭和36年	愛媛県	丹原高等学校	尾上 洋子
昭和37年	熊本県	水俣高等学校	野田 幸則
昭和38年	島根県	平田高等学校	山中千薙子
昭和39年	大分県	緑丘高等学校	森 靖博
昭和40年	大分県	佐伯鶴城高等学校	松下 千鶴
昭和41年	大分県	緑丘高等学校	片山 和子
昭和42年	大分県	緑丘高等学校	秋月 二美
昭和43年	島根県	出雲高等学校	天野真由美
昭和44年	島根県	出雲高等学校	岸 恵子
昭和45年	山口県	宇部中央高等学校	桑原 英子
昭和46年	島根県	大社高等学校	大国 和子
昭和47年	熊本県	九州女学院高等学校	淵田 恭代
昭和48年	宮崎県	都城泉ヶ丘高等学校	柳橋さとみ
昭和49年	宮崎県	宮崎女子高等学校	嶽道 優子
昭和50年	長崎県	活水高等学校	安藤かしづ
昭和51年	熊本県	第一高等学校	久保扶佐子
昭和52年	熊本県	水俣高等学校	西森 由美
昭和53年	宮崎県	延岡高等学校	今村 雅彦
昭和54年	宮崎県	宮崎女子高等学校	湯浅 直美
昭和55年	山口県	宇部女子高等学校	中村 里美
昭和56年	兵庫県	松陰女子学院高等学校	吉野 桂子
昭和57年	大分県	緑丘高等学校	竹本 宏子
昭和58年	兵庫県	神戸山手女子高等学校	木山みずほ
昭和59年	愛媛県	松山南高等学校	藤岡 葉子
昭和60年	大分県	緑丘高等学校	米沢 みこ
昭和61年	兵庫県	赤穂高等学校	金谷美知子
昭和62年	島根県	出雲高等学校	園山はるみ
昭和63年	熊本県	第一高等学校	井上 素子
平成元年	島根県	大社高等学校	山崎 一幸

開催年	県名	出身高等学校	氏名
平成2年	鳥取県	由良育英高等学校	伊藤 京子
平成3年	兵庫県	神戸山手女子高等学校	飯山 友子
平成4年	鹿児島県	松陽高等学校	淵田 嗣代
平成5年	岡山県	山陽女子高等学校	浅野多恵子
平成6年	高知県	高知高等学校	国沢さおり
平成7年	大分県	大分舞鶴高等学校	藤井 雄介
平成8年	兵庫県	西宮高等学校	足立 志穂
平成9年	奈良県	高円高等学校	梶 貴志
平成10年	熊本県	水俣高等学校	福島 有梨
平成11年	長崎県	長崎西高等学校	吉川 友理
平成12年	宮崎県	宮崎女子高等学校	間瀬田紗代
平成13年	大分県	大分高等学校	後藤 真美
平成14年	佐賀県	佐賀西高等学校	立川 清子
平成15年	京都府	京都市立音楽高等学校	朝来 泰生
平成16年	鹿児島県	松陽高等学校	竹下 裕美
平成17年	神奈川県	小田原高等学校	加藤のぞみ
平成18年	大分県	芸術緑丘高等学校	紀野 洋孝
平成19年	熊本県	ルーテル学院高等学校	中川恵美里
平成20年	大阪府	夕陽丘高等学校	松原みなみ
平成21年	高知県	高知丸の内高等学校	野町 知弘
平成22年	鹿児島県	甲南高等学校	大平 倍大
平成23年	鳥取県	松柏学院倉吉北高等学校	椿 翔太
平成24年	鹿児島県	松陽高等学校	山田 晃也
平成25年	熊本県	必由館高等学校	野田 桜子
平成26年	岡山県	倉敷青陵高等学校	岡 友一
平成27年	長崎県	活水高等学校	塩谷 梨奈
平成28年	香川県	坂出高等学校	西谷 亮良
平成29年	大分県	大分東明高等学校	石本 高雅
平成30年	福岡県	福岡雙葉高等学校	占部 李佳
令和元年	滋賀県	石山高等学校	居島 優海
令和2年	新型コロナウイルスの影響により式典のみ開催		
令和3年	千葉県	松戸高等学校	鳥羽 寿光
令和4年	香川県	高松第一高等学校	中村 心滯

令和5年度入賞者

- 第1位 山田 遇己（大阪府立夕陽丘高等学校）
 第2位 鈴木 心毬（大分県立芸術緑丘高等学校）
 第3位 柏原 萌（兵庫県立北須磨高等学校）

歴史

瀧廉太郎記念音楽祭（コンクール）略歴

- ◎第1回 楽聖瀧廉太郎記念音楽祭《創設》
・前日祭 昭和22年6月28日
・記念音楽祭 昭和22年6月29日（於：竹田岡城跡）
- ◎第2回 楽聖瀧廉太郎記念音楽祭
昭和23年10月17日（於：竹田岡城跡）
・大分県学生音楽コンクール
・大分県青年団音楽コンクール
- ◎第3回 楽聖瀧廉太郎記念音楽祭
昭和24年10月2日（於：竹田岡城跡）
・九州各県高等学校声楽コンクール
- ◎第6回 瀧廉太郎記念音楽祭
昭和27年10月12日（於：竹田岡城跡）
・西部日本高等学校独唱コンクール
- ◎第46回 瀧廉太郎記念音楽祭
平成4年10月25日（於：竹田文化会館）
・第1回全日本高等学校声楽コンクール
- ◎瀧廉太郎記念音楽祭実行委員会
令和元年9月27日受賞式（於：東京都）
・第41回サントリー地域文化賞受賞

審査員（第46回以降）

- | | | | |
|-------------------|--|-------------------|--|
| 第46回 | 木村 宏子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長） | 第61回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授）
田原祥一郎（武庫川女子大学音楽学部学部長）
川上 茂（東京藝術大学音楽学部声楽科准教授）
渡部 千枝（名古屋音楽大学音楽学部声楽学科講師） |
| 第47回
（
第49回 | 木村 宏子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
安永武一郎（大分県立芸術文化短期大学学長）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授）
応和 恵子（大分大学助教授） | 第62回 | 栗林 義信（東京音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授・桐朋学園大学音楽学部特任教授）
田原祥一郎（武庫川女子大学音楽学部学部長）
伊原 直子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
渡部 千枝（名古屋音楽大学音楽学部声楽学科講師） |
| 第50回 | 曾我 栄子（国立音楽大学教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
安永武一郎（大分県立芸術文化短期大学学長）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授）
応和 恵子（大分大学助教授） | 第63回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授）
蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
渡部 千枝（金城学院大学講師） |
| 第51回 | 三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
安永武一郎（大分県立芸術文化短期大学学長）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第66回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
渡部 千枝（金城学院大学講師）
中村 健（尚美学園大学大学院客員教授） |
| 第52回 | 高橋 大海（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第67回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
渡部 千枝（金城学院大学講師）
佐々木典子（東京藝術大学教授） |
| 第53回 | 中村 浩子（東京藝術大学音楽学部声楽科名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第68回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授、日本演奏連盟理事長）
蔵田 裕行（京都市立芸術大学名誉教授）
伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
渡部 千枝（金城学院大学講師）
佐々木典子（東京藝術大学教授） |
| 第54回
（
第57回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
田原祥一郎（大阪音楽大学教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科助教授）
小長 久子（大分県音楽協会会長）
阿部 容子（大分県立芸術文化短期大学教授）
片野坂（大島）栄子（大分県立芸術文化短期大学教授） | 第69回
・
第70回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
甲斐栄次郎（東京藝術大学准教授） |
| 第58回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
田原祥一郎（大阪音楽大学教授）
朝倉 蒼生（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
伊原 直子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授） | 第71回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
勝部 太（東京藝術大学名誉教授） |
| 第59回
・
第60回 | 伊藤 京子（国立音楽大学名誉教授）
三林 輝夫（東京藝術大学名誉教授）
田原祥一郎（武庫川女子大学音楽学部学部長）
伊原 直子（東京藝術大学音楽学部声楽科教授）
渡部 千枝（名古屋音楽大学音楽学部声楽学科講師） | 第72回
・
第73回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
甲斐栄次郎（東京藝術大学准教授） |
| | | 第75回 | 伊原 直子（東京藝術大学名誉教授）
二神 二郎（愛知県立芸術大学名誉教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学名誉教授）
佐々木典子（東京藝術大学教授）
佐藤美枝子（武蔵野音楽大学教授） |
| | | 第76回 | 佐々木典子（東京藝術大学教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学名誉教授）
佐藤美枝子（武蔵野音楽大学教授）
山下 浩司（国立音楽大学教授）
萩原 潤（東京藝術大学准教授） |
| | | 第77回 | 佐々木典子（東京藝術大学教授）
斉藤 言子（神戸女学院大学名誉教授）
佐藤美枝子（武蔵野音楽大学教授）
山下 浩司（国立音楽大学教授）
萩原 潤（東京藝術大学准教授） |

第78回 瀧廉太郎記念

全日本高等学校声楽コンクール出場申込書

都道府県名：

写 真

(3 × 4 cm)

1. 独唱者

氏名	(ふりがな)	声種 (必ず記入すること)
自宅の住所		電話番号・FAX
〒 -		TEL () -
		FAX () -
メールアドレス		携帯電話番号
学校名	(ふりがな)	※正式な学校名を記入
		学 年
		() 年
学校所在地		電話番号・FAX
〒 -		TEL () -
		FAX () -

2. 伴奏者

氏名	(ふりがな)	学校名・所属	学 年
自宅の住所		電話番号	
〒 -		() -	

3. 引率者

氏名	(ふりがな)	学校名・所属または職業
自宅の住所		電話番号・携帯電話番号
〒 -		TEL () -
		携帯 () -

4. 連絡先 (窓口)

氏名	(ふりがな)	学校名・所属または職業
連絡先住所		電話番号・FAX
〒 -		TEL () -
		FAX () -

- ◆ この出場申込時に提出いただいた情報は、本コンクールの運営以外には使用いたしません。
- ◆ 竹田市の広報等に使用のため、コンクール期間中に記録映像等を収録します。あらかじめご了承ください。

5. 曲名等（自由曲については日本語訳を必ずつけること）

	歌 曲 名	作 曲 者
課題曲	(「荒城の月」の場合は、1 番から 4 番のうち、どの二番か記載すること)	瀧 廉太郎
自由曲	(原 語)	(原 語)
	(日本語)	(日本語)
	オペラ名〔	
	オペラの役名〔	
※オペラを選択した場合にはすべて記入のこと	【掲載例】自由曲(原語)Porgi amor qualche ristoro (日本語)愛の神よ照覧あれ (作曲家)W.A.Mozart / モーツァルト オペラ名〔フィガロの結婚〕 オペラの役名〔コンテッサ 伯爵夫人〕	
合計演奏時間（課題曲の演奏を開始してから自由曲終了まで）		分

6. 開催地（竹田市）着発の日時、行動予定等

月 日(曜日)	利用する交通機関や着発の時間を具体的に記入してください。
10月 日()	
10月 日()	
10月 日()	
10月 日()	

7. 参加人数

月 日(曜日)	参 加 人 数			農家民泊 (希望の場合は○を つけてください)		
10月 日()	男性 ()	名	・ 女性 ()	名	合計 名	希望する
10月 日()	男性 ()	名	・ 女性 ()	名	合計 名	希望する
10月 日()	男性 ()	名	・ 女性 ()	名	合計 名	希望する
10月 日()	男性 ()	名	・ 女性 ()	名	合計 名	希望する

() は独唱者との続柄を記入すること。

8. その他（学校推薦で申し込みをする方のみ記入のこと）

(1) 賞歴・研修歴等を記入してください。（別紙添付可）

(2) 自己PRを記入してください。（別紙添付可）

◆ 学校長推薦書、及び課題曲・自由曲の2曲を撮影した歌唱動画を必ず併せて提出してください。

キ
リ
ト
リ
セ
ン